# こんぎ新聞

'17. 3. No237
発行 市岡旺史
責任
0863-88-5292

## 時の流れとはいえ

三日は卒業のシーズン。毎年のことながら、この季節になれば複雑な気持になってしまう。

小さい頃より、よく知って遊んでいた子供たちが成長し、卒業を迎えるのは、嬉しいのは間違いなく嬉しい。その上、年と共に涙もろくなってしまい、話すだけで……。

そして、今年も卒業して祖谷から出ていってしまう子供たち。

高校がないので、当然の旅立ちです。

家庭によっては、同時に引越すことも、これヌ当然考えられることとなる。

十分な仕事もないのだから、仕方がない。

そんなゆえに、長い間祖谷のゆで、公私共に遊び喜び、又、悩み事を相談しあい、助けあった人もいるのである。

おめでとう」と言いつつ、心複雑になってくる。

時の流れとはいえ、なんとかトップさせたいけどなあら。

まあ、元気で、次の世界で気な顔を見せて欲しいのがその時は、また皆んなで「あの時は……」なんて昔話でも語りましょうよ。

## よかった！よかった！

## 一年生来るよ

そんな時の流れで、4日からの新一年生がないという状況だったのですが、なんと、転入で、一年生が入学する様です。よかった。よかった。

学校といえば、地域の中心とはいえ、子供がいなければその学校で、入学式や卒業式がないとなればこれまた寂しい限りです。ともかく、四月には、新一年生にあえそうです。

## 剣山で……

ここ数年、中高年の登山ブームとか山ガールとか言われ山を楽しむ人が多くなっている。と同時に遭難、事故も多くなっている。

気楽に山へ行く人、そこそこケガが通じる。などの条件が重なり、地元消防団の人は大変である。

剣山で、二月に滑落事故があり、様々な事で、次の日に救助となるが、死亡となりました。残念です。死亡は凍死の様ですが、これを教訓に、それぞれの立場で考えてほしいものです。

## 支え合い 決して離すな 絆かな